

# 社会 中学校 第2学年

## 個々の問題の出題の意図及びその正答率

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率
	大問	小問	通番		思考・判断	料活用・表現	知識・理解	
地理的分野	①	1	1	世界的視野からみて、日本が環太平洋造山帯に属し、大地の動きが活発であるという自然環境の面から地理的特色を理解している。			○	57.8
		1	2	伝統的な生活や文化の継承という面から、京都など数カ所が世界文化遺産に登録されていることを理解している。			○	64.6
		2	3	日本は自然災害（特に地震）が発生しやすい環境にあることと、その地震による被害について考えることができる。	○			87.7
		3	4	日本が温帯に属しているということ、地図に見られる気候と緯度とのかかわりを理解し、地図から読みとることができる。		○	○	24.1
		4	5	国際化の影響で近代的な生活や文化が広がり、都市の再開発を進める中で伝統的な町並みを保存していくことの難しさについて、適切に考えることができる。	○			53.2
	②	1	6	日本のおおよその人口を理解し、日本の人口と統計図表に示された4カ国の人口を比較することができる。			○	50.9
		2	7	統計図表に示された各種のデータから、C国の特色を読みとり、その様子を総合的に考えることができる。	○	○		65.8
		3	8	資料に示された日本とA国の農業に関する各データを正しく読みとり、特にA国の農業の規模や生産性について適切に考えることができる。	○	○		80.1
		4	9	日本の企業がB国に進出する理由を、資料からB国の労働者の賃金の低さに着目し適切に考えることができる。	○	○		38.3
		5	10	資料から、D国の輸出品の割合の変化を手がかりとして、輸出品から見たD国の特色を読みとることができる。		○		63.9
歴史的分野	③	1	11	町人の生活を描いた文学や浮世絵から、都市を舞台にして、経済力を増した町人を担い手とする文化が形成されたことを理解している。			○	36.7
		2	12	江戸時代の諸産業の発達について、米作りの発達を農具の改良と新田の開発という視点から考えることができる。	○	○		67.9
		3	13	江戸時代の人々の生活について、現在との結びつき、比較という視点からその様子を理解している。			○	75.0
		4	14	江戸時代の社会の変化の大きな流れについて理解するとともに、資料の特徴を適切に読みとることができる。		○	○	56.3
	④	1	15	日米修好通商条約がどのような点で不平等であるのか、日本にとってそれがどのような問題であったのか、その内容を適切に理解している。			○	62.0
			16				○	67.8
		2	17	地租改正による政府収入の変化について、資料からその内容を適切に読みとることができる。		○		58.4
		3	18	明治の改革期に、近代国家としての歩みを始めるために「大日本帝国憲法」が制定されたことやその経緯を理解している。			○	42.9
		4	19	19世紀後半から20世紀前半の、日本の近代文化の形成について、その様子や特色を代表的な作品や資料と関連させて理解している。		○	○	79.3
		5	20	江戸時代以降の産業の発達について、社会の様子や人々の生活の変化とかかわらせて考えることができる。	○			44.8